

第 2 回草津市総合計画審議会における
主な意見とその対応について

○は審議会での意見・対応
→は審議会後の事務局対応

主な意見・確認事項	対応
<p>(記録の公開について)</p> <p>○ 議事概要の公開は、会長、A 委員、B 委員など委員名を記号で表示する形式とする。</p>	<p>→ 第 1 回審議会の議事概要について、確認事項どおり公表済み。</p>
<p>(第 1 期基本計画の期末評価について)</p> <p>○ 平成 24 年度末が第 1 期末となるが、本日資料は平成 23 年度末の内容である。策定作業のための暫定的なもので、第 1 期期末には別途に評価を予定されているのか。</p> <p>○ 市役所として期末評価はきちっと 3 年間は 3 年間でされてしかるべきではないかと思っていた。本日資料を今後も期末評価という表現を使われるかどうかは事務局で引き取って検討されたい。</p>	<p>○ 現在のところ別途の評価を策定する予定はない。</p> <p>→ 審議会でのご指摘を踏まえ、来年度に平成 24 年度までの内容をもって本来の期末評価を行う。</p>
<p>○ 基本方針 57 項目中 18 項目は意識調査の結果が指標となっている。その有効性を確認したい。配布・回収数、調査時期などを教えていただきたい。</p>	<p>○ 平成 22、23 年度末に実施。無作為抽出の市民 3,000 人に調査票を配布した。無記名の調査で回答率は概ね 3 分の 1 程度であり、統計上有効な回答を得ている。</p>
<p>○ 「就学前教育・保育の充実」の達成度が 0% など、目標値の立て方に再考が要る。</p>	<p>○ 100か0かという指数しか出ていないということで問題があると思っている。例えば入所率を採用するなど、解決していきたい。</p>
<p>○ 目標達成度といった数字が先に出してしまうと、例えば 100%であればほとんど目標を達成している印象を受ける。数字にこだわると市民に評価が見えにくくなる。</p> <p>○ 指標としての妥当性も検証が必要。代表値としてのベンチマークが 100%達成であっても、下位の施策の達成状況が 100%となっていないなど、市民に誤解を与える表現となっている。</p> <p>○ 目標値を超えたものは 120、130%という数字が出たほうが評価結果を判断できる。</p> <p>○ 100%になれば達成されて通常は終わるので、100%に近づいたら目標を改めて厳しいものにする事も考えられる。</p> <p>○ 100%達成したからあとはどのような形で捉えるかという点にも留意が要る。</p> <p>○ 平成 24 年度末に実現可能な目標値を立てるのが望ましい。明らかに不可能な目標値は立てるべきではない。次回の第 2 期基本計画のときには、すべての項目が 100%になるという目標値の立て方がいいのではないか。</p>	<p>○ 指標は基本方針ごとに定めて、複数ある施策の一つをサンプルとして示している。100%達成できたものであっても、続けて進めていくものもある。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価公表の手法について、ホームページ以外での手法について聞きたい。 ○ 市民センターには置かないのか。もう少し広がりをもって見られる機会をつくられたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冊子の形での公表も、市の企画調整課窓口、情報公開室に置く予定である。 → 市民センターにおいても閲覧できるように対応する。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 公表に関して、障がいのある人への対策はないか。これだけ膨大なものなので難しいとは思いますが重要な課題だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市全体の情報公開のあり方として検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 取組概要、成果実績は過去形で、環境変化、今後の課題は現在進行形で、など、時制の表現を整理されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精査する。
<p>(第2期基本計画の施策体系案について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「道路・交通」の「公共交通体系の充実」という基本方針を「さらに草津」宣言 ロードマップ」に合わせて「歩いて暮らせるまちづくり」と市民にわかりやすくしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> → 「道路・交通」の3つの基本方針すべてによって、基本構想に掲げる「歩いて暮らせるまちづくり」の考え方を受けているため、その1項目のみに適用することは不相当と考える。 → 市民へのわかりやすさに留意して、表現を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「市民文化の森基本計画」について市長のマニフェストでかなり具体的に検討するとなっているが、24年度の予算0円で方向性が出ていない。逆に、草津アミカホールが頑張っている事業数を4倍にして、利用者数も一気に1,400から5,600となっている。キャパシティ的にも限界があり、文化・芸術の拠点形成の時期がきており、「創造館を新たな草津の芸術拠点に」など25年度に向けての具体的な方向性が見えるべき。アミカホールの目標値にも盛りあげていこうという意識が読み取れない。課題に挙げていることと、それを具体化する部分と提案の部分をしっかり見えるものにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「市民文化の森構想の再検討」は、創造館を県施設として存続させてほしいというスタンスで要望している。県の思いはまたさまざま、市と県と意見調整をしながら創造館のあり方を定めていきたい。その見極めができない限りは、市民文化の森もどういうあり方がふさわしいのかは決められないということである。定まったら早速にでも対応したい。 ○ アミカホールの集客人数の目標数値自体は21年に24年度分まで定めたためこの数字になっている。23年度に指定管理を導入したことで実績値は上がっている。次期の計画でこれを踏まえて目標を定める。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校教育の充実」の課題のなかで、「学校だけでは対応できない複雑なケースが増加しており、引き続き教育相談体制の充実が必要である」となっているが、それにかかる具体的な事業、課題解決の具体的な力点が見えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「第1期基本計画における主な事業と成果」の欄の「学校問題サポートチーム会議」に関わる事案である。期末評価の概要の書き方はわかりにくい、不親切な書き方になっている。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「男女共同参画社会の構築」で、男女共同参画推進計画の推進が施策名になっている。市民の側からそれが何を意味しているのかを、基本計画のなかで見て取れない。総合計画のほかの部分とも関係してくるので、再掲という形で載せていいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> → 第1期基本計画策定においては、事務事業の再掲載をしない、という方針のもとで施策体系を調整したことから、直接的な事務事業が限られる分野のため、当該部門計画の体系を掲載するよう整理した経緯がある。

<p>○ 施策体系を審議する前提として、第5次総合計画の5つの基本方向や22の分野の到達点、課題がきちっと出される必要がある。草津市を取り巻く状況についての変化がいろいろな形で出ている。市としての現状認識について、きちんと取りまとめておいていただきたい。</p>	<p>○ 次回までに考え方も含めて会長と相談しながら整理したい。</p>
<p>○ 基本方針レベルの括り方について、統合・分割、あるいは施策から基本方針への格上げなど、いくつか検討する必要がある。</p>	<p>○ 検討していきたい。</p>
<p>○ 基本方向が5項目、分野が22項目あり、ここまでが議決されている。検討対象は基本方針の57項目と施策の140項目、さらに事務事業が672項目。施策体系の階層が多く、市民にとってわかりにくい。また、基本方針が施策評価を行うレベルとしたはずだが、実態は施策のレベルで進捗管理がされている。</p>	<p>○ 体系の整理はする必要があると思っている。ご提言、ご意見があるとありがたい。</p>
<p>○ 施策を検討する段階において、予算の評価がいちばん重要だ。予算を各基本方針で括った数字を出していただければわかりやすい。</p> <p>○ 評価は予算だけでなく、人件費を含めてトータルで見ないといけないことを前提にする必要がある。</p>	<p>→ 今後の提示資料について検討する。</p>
<p>○ 評価の公表は、数字ばかりではなく、グラフとか絵などを使って、市民にわかりやすくされたい。</p> <p>○ 3年前に見やすさを追究してこのようにしたという経過がある。ご指摘いただいたが、難しい面もあると思う。</p>	<p>○ 11年間という大きな枠組みのなかで踏襲しないといけない部分、直せる部分があるが、できるだけわかりやすくなるよう図る。</p>